

9

資源府官房統計課  
長官

0-1  
9

# 大正三年本邦鑛業之趨勢

商工省鑛山局

農商務省鑛山局

鑛山局鑛業統計課

凡例

一本書ハ主トシテ本邦内地ノ大正三年中ニ於ケル鑛業ニ關シ其概況ヲ輯錄シタルモノニ係ル

但シ朝鮮、臺灣及樺太ニ於ケル鑛業ニ關シテハ参考ノ爲メ其主管廳ノ調査ニ依リ附錄トシテ載錄セリ

一大正二年本邦鑛業ノ趨勢ニ掲ケタル同年及其以前ニ係ル統計ニシテ本書ト對比シ差異アルモノハ本書ニ掲クルモノヲ以テ正トス

一輸出入ニ關スル事項ハ大藏省主稅局、朝鮮及臺灣ニ於ケル輸移出入ニ關スル事項ハ各總督府ノ調査ニ基キ又外國鑛產ニ付テハ一九一三年「ミネラルインダストリ」ニ據リタリ

一鑛業投資額ニ關スル事項ハ官報廣告ニ基キ調査セリ

01  
9

## 總說

## 大正三年本邦鑛業ノ趨勢目次

鑛山開墾統計課

第一章 鑛業ノ出願	一
第二章 鑛區	一九
第三章 鑛產	五一
第四章 鑛產物ノ輸出入	一〇三
第五章 鑛業投資	一五一
第六章 鑛產物ノ市價	一五七
第七章 鑛山事業ノ概況	一八三
第八章 鑛夫	三四五
第九章 鑛山變災事故	三四七

## 附表

第一表 鑛產高累年比較	一
第二表 鑛山別產額 金屬山	五

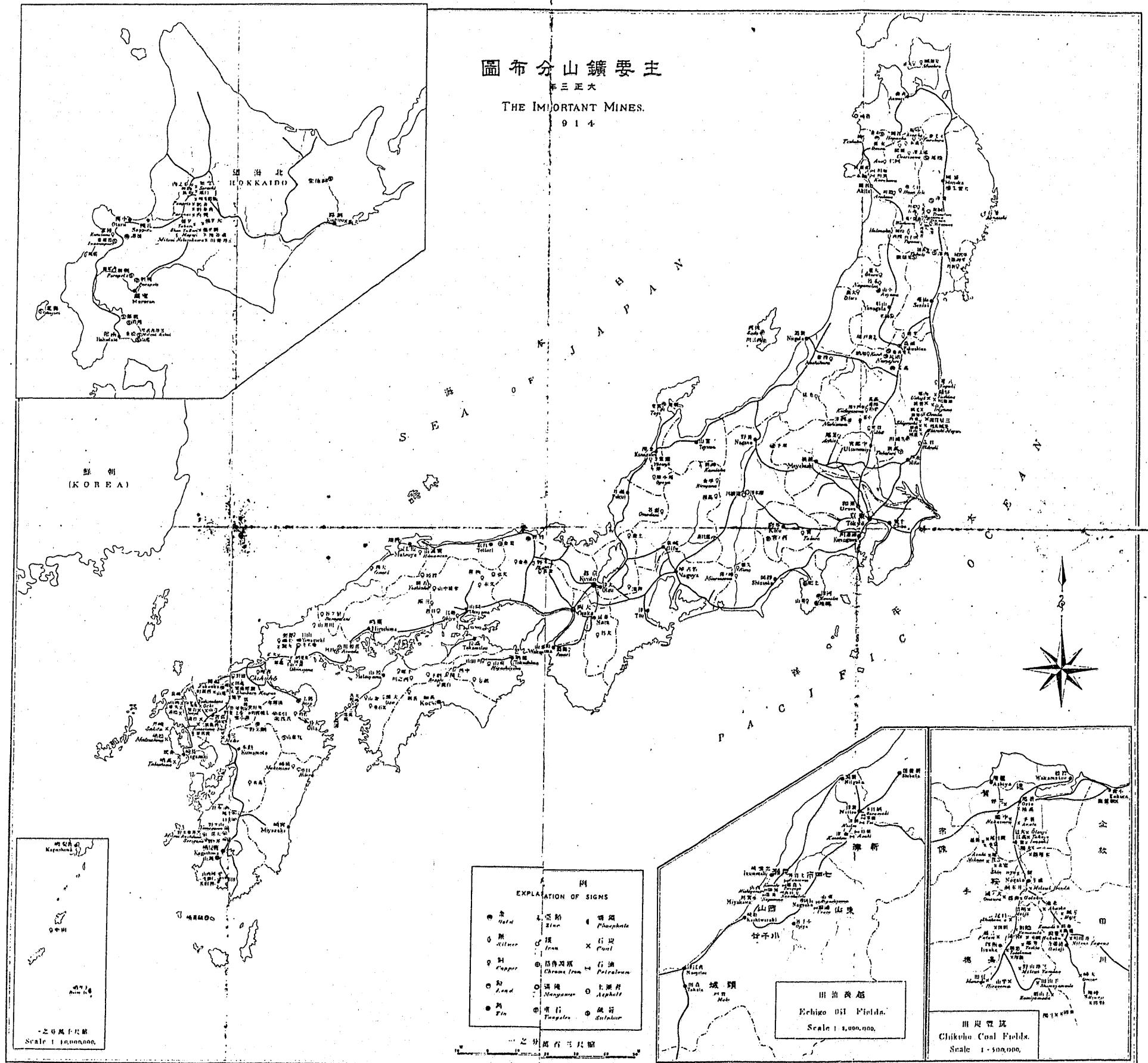
第三表 鑛山別產額 石炭山.....	二五
第四表 同 石油山.....	三九
第五表 同 非金屬山(石炭石油以外).....	四一
第六表 鑛產物輸出表.....	四五
第七表 鑛產物輸入表.....	四七
第八表 作業及年齡別鑛夫人員表.....	五三
第九表 府縣別鑛夫人員表.....	五九
附錄 朝鮮、臺灣及樺太二於ケル鑛業	
一 朝鮮.....	一
二 臺灣.....	三六
三 樺太.....	六〇

圖布分山鎮要主

年三正大

THE IMPORTANT MINES.

914



# 大正三年本邦鑛業ノ趨勢

## 總說



大正三年中ニ於テハ年初以來一般財界不振ノ爲メ各種工業ノ景氣不振ニシテ鑛業ノ狀況亦憂慮ヲ懷カシムルモノアリシモ幸ニシテ前年來ノ進運ヲ維持シ殊ニ八月以降ニ在リテハ歐洲戰亂ノ影響甚タシキモノアリシニ拘ラス大體ニ於テ良好ナル成績ヲ收メタルハ斯業ノ爲メ欣フヘキコトス今事業ニ就キ之ヲ見ルニ新ニ着手シタル鑛山ハ其數三百十六ニ上リ又事業ノ擴張、設備ノ改良、建設等ヲ爲シタルモノ百九十六ノ多數ヲ算シ之カ爲メ產額ノ增加ヲ來シタルハ勿論操業上ニ於ケル技術及之ニ伴フ設備ノ進歩亦見ルヘキモノ甚タ多シ

同年中ニ於ケル出願件數ハ試掘、探掘、砂鑛採取願ヲ合シ總數六千二百九件ニシテ之ヲ前年ニ比スレハ砂鑛採取願ニ於テ福岡縣八女郡地方及北海道石狩地方ニ於ケル砂金ノ激減ニ因リ八十九件ヲ減シタル爲メ總數ニ於テ七十六件一分強ヲ減少シタルモ試掘願ニ於テハ四件、探掘願ニ於テハ九件ヲ増加セリ

鑛區八年末現在ニ於テ試掘六千四百二十八ノ多キニ上リ明治三十八年以來未曾有ノ多數ヲ示セリ唯探掘鑛區ニ在リテハ近時鑛業經營ノ規模擴大スルニ伴ヒ鑛區ノ合併行ハル爲メ其數ニ於テハ年々減少セルモ其面積ニ於テハ却ツテ年々增加ノ傾向ヲ呈セリ

鑛產額ハ鑛山ニ附屬セサル製鍊所ノ製出ニ係ルモノニ付テハ其材料未タ到達セサルヲ以テ確定數ヲ揭示スルヲ得スト雖モ今假ニ之ヲ前年ト同一ニ見做セハ其總額一億五千三百三十一萬圓ニ達シ前年ニ比シ六百四十六萬餘圓ヲ增加セリ若シ更ニ製鐵所ノ製出ニ係ルモノ(大正三年度)及朝鮮、臺灣ニ於ケル產額ヲ通算スルトキハ左記ノ如ク實ニ一億七千九百六十三萬五千七百六十三圓ノ多キニ達ス

## 内 地

一五三三〇九、七一六<sup>(四)</sup>

## 製鐵所

一三三八三、六一一

## 朝 鮮

八四〇二、六四九

## 臺 灣

四、五三九、七八七

## 計

一七九、六三五、七六三

鑛產物ノ對外貿易ハ其總額一億四千百五十萬餘圓ニシテ内輸出ハ五千七百七十一萬餘圓、輸入ハ八千三百七十八萬餘圓ニシテ之ヲ前年ニ比スレハ輸出ニ於テ十萬餘圓ヲ增加セシモ輸入ニ於テ二千五百五十八萬餘圓ヲ減少シタル爲メ結局總額ニ於テ二千五百四十八萬餘圓ヲ減少セリ

鑛業資金中會社組織ニ依ル投資ニ付キ其一斑ヲ窺フニ同年中新ニ投下セラレタルモノハ其總額二千三十一萬餘圓(此拂込額千二百)ニシテ會社ノ新設ニ依ルモノ七百七十六萬餘圓(此拂込額六百)、增资ニ依ルモノ千二百五十五萬圓(此拂込額六百)ナリ又之ヲ鑛種ニ區別セハ石炭千五百九萬餘圓、

金屬二百六萬餘圓、石油百五十七萬餘圓、其他百五十七萬餘圓ナリ

鑛產物ノ市況ハ前年來下向ノ大勢ヲ承ケ益々不況ニシテ唯僅ニ石炭ノ三月頭迄好況ヲ持續シタルヲ異彩ト爲ス殊ニ七月末歐洲戰亂勃發以來安質母尼、亞鉛等例外ニ屬スルモノナキニアラサルモ一般鑛物ハ需要ノ減退、取引ノ滯滯等ニ依リ益々沈衰ニ陥リ而シテ本邦主要鑛產物タル銅ノ如キモ一時頗ル苦境ニ沈淪セリ年末ニ至リ漸ク強氣配ニ持直シタルモ一般鑛物ノ市價ハ全年ヲ通シ概シテ不味タルヲ免レサリキ

事業上ニ於テハ輓近鑛業技術ノ進歩ニ伴ヒ採鑛、製鍊、運搬等ノ設備ニ機械力ノ應用セラルモノ比年盛大ヲ致シ探鑛ノ爲メ各種試錐機、開坑及採鑛ノ爲メ鑿岩機、石油山ニ於テ「ロータリー」鑿井機、坑外運搬ノ爲メ架空索道、石炭礦ニ於テ扇風機ノ使用及動力用電氣ノ應用等漸次多キヲ加ヘ斯業ノ發達上其効果渺ナシトセス次ニ鑛山開發ニ付テハ伊豆地方ノ金鑛頓ニ長足ノ發展ヲ爲シタルト、北海道芦別及砂川炭田ノ漸ク操業期ニ入りタルト、秋田、青森等ニ於テ石油鑛業發展ノ機運ニ向ヒタル等ハ特記スヘキ事項ナリトス若夫レ時局ノ事業上ニ及ホセル影響ニ付テハ金、銅、重石、亞鉛、石炭及硫黃鑛山等各々其趣ヲ異ニスルアルモノ大體ニ於テ當初豫期セラレタルカ如ク甚大ナラサリシハ至幸ナリト謂ハサル可カラス